

7. 竹刀は割れます！

竹刀は、自然の材料そのものです。打突により、絶えず衝撃を受けて、繊維が大きく破壊されていきます。また、使用しない場合でも経年劣化します。

安全に使用するために、メンテナンスはしっかりとする必要がありますが、それでも割れます。

点検時、少しでもヒビ、割れ等があれば、迷わず新しいものに交換しましょう。

使用時、異音が出た場合や、ササクレ等により竹の粉塵が出る場合は、直ちに使用を中止して下さい。

念入りに点検し、悪い箇所があれば使用者の責任において修理を行って下さい。油断が大きな事故につながります。

※竹刀のメンテナンスについて

安全に剣道を行うために

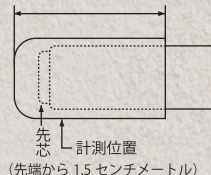
竹刀のメンテナンスは必要不可欠です。

※メンテナンスの目的

竹刀の破損による、眼及び外傷等の事故を未然に防ぐために行う大事な作業です。

＜竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法＞

先革の長さ 5 センチメートル以上

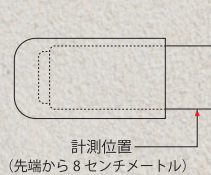


計測位置
(先端から 1.5 センチメートル)



計測位置
(対辺直径)

＜ちくとうの最小直径値の計測方法＞



計測位置
(先端から 8 センチメートル)



計測位置
(対角直径)

Shinai (竹刀) Safety (安全) Promotion (推進)

正しい竹刀の証。

「SSP シール普及の目的」

「規格製品の供給浸透による事故防止」

「全日本剣道連盟の規格を満たす品質保証」

「剣士の安全を考えない不良品の排除」

全日本武道具協同組合では、

より質の高い剣道用品を提供すること、安全な剣道の普及を目指しています。

剣道の稽古並びに試合において竹刀による事故を未然に防止するため、平成19年より全日本剣道連盟の基準に適合した竹刀に対し「SSP シール」を貼付して品質保証しています。

規格に合わない竹刀の「製造・販売を行わない」を目標に、規格外の竹刀を排除を目指し、竹刀の品質向上を図ると共に消費者への啓発活動を展開しています。

公式試合の竹刀検査において、「SSP シール」貼付の有無が第一次検査とする認知を最終目的としています。

1 年間に
100万本

SSP シールには
賠償保険が付いています。



「剣道試合・審判規則及び細則」

(1) 一刀の場合

	対象	中学生	高校生 (相当年齢者も含む)	大学生・一般
長さ	男女共通	114 センチメートル以下	117 センチメートル以下	120 センチメートル以下
重さ	男性	440 グラム以上	480 グラム以上	510 グラム以上
	女性	400 グラム以上	420 グラム以上	440 グラム以上
太さ	男性	先端部最小直径	25 ミリメートル以上	26 ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24 ミリメートル以上	25 ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上

(2) 二刀の場合

	対象	大学生・一般	
		大刀	小刀
長さ	男女共通	114 センチメートル以下	62 センチメートル以下
重さ	男性	440 グラム以上	280～300 グラム
	女性	400 グラム以上	250～280 グラム
太さ	男性	先端部最小直径	25 ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	20 ミリメートル以上
	女性	先端部最小直径	24 ミリメートル以上
		ちくとう最小直径	19 ミリメートル以上

平成 31 年 4 月 1 日より